



編集・発行

+ 日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society

〒500-8601 岐阜市茜部中島2-9

TEL : 058-272-3561 <http://www.gifu.jrc.or.jp/gifu/>

赤十字の活動は、皆様からの社資で支えられています。



①被災地の子どもと
②こころのケア班活動の様子
③赤十字奉仕団員による義援金募集活動の様子

CONTENTS

東日本大震災救護活動状況……………2	平成23年度岐阜県赤十字有功会総会の開催……………3
平成23年度日本赤十字社岐阜県支部主催	赤十字奉仕団員基礎研修会……………3
県内赤十字施設合同救護訓練……………2	AKB48ともっとよく知る赤十字！……………4
水の事故に備え「赤十字水上安全法」講習を開催……………2	赤十字マークを知っていますか？……………4
高山赤十字病院白子医師夫妻で国際救援活動……………3	岐阜県支部お知らせ……………4

東日本大震災救護活動状況（岐阜県支部分）

平成23年8月31日現在

施設別	救護班数	こころのケア班数	職員派遣人数	派遣内訳（延べ人数）
支部	—	—	11	救護班帯同（7名）・宮城県庁派遣（1名）・こころのケア要員（3名）
高山赤十字病院	8	2	65	※救護班:医師（12名）・看護師（19名）・薬剤師（8名）・主事（16名） ※病院支援:医師（1名）・看護師（3名）・主事（2名） ※こころのケア要員（3名）
岐阜赤十字病院	8	2	62	※救護班:医師（10名）・看護師（20名）・薬剤師（8名）・主事（16名） ※こころのケア要員（6名）
岐阜県赤十字血液センター	—	—	5	※救護班帯同（2名）※広報要員（1名）※本部要員（2名）
計	16	4	143	

※主な活動：避難所内救護所での診療活動、巡回診療、こころのケア活動、病院支援活動等

※取扱患者数（延べ数概算）2,060名 こころのケア事例数 300件（8/15現在）

※主な派遣先：岩手県陸前高田市（第一中学校）3/11～3/31 宮城県石巻市（市内避難所）4/1～8/29

平成23年度日本赤十字社岐阜県支部主催 県内赤十字施設合同救護訓練



重傷エリアでの訓練の様子

平成23年7月22日（金）・23日（土）の両日、県内赤十字施設合同救護訓練を高山市において実施しました。

高山市を中心に大規模直下型地震が発生し、飛騨地域全体に甚大な被害が生じたとの想定のもと、県内赤十字職員、高山市、久美愛厚生病院、厚生連看護専門学校、高山市消防と、高山市全体を対象（東京都の総面積に匹敵）とした訓練に取り組みました。

22日は午前中に「東日本大震災救護」の検証会を行った後、想定された大規模直下型地震発生と同時に、高山市役所に設置された災害対策本部へ移動し、高山市内の各支所を中心に設置した救護所に、高山赤十字病院2班と、久美愛厚生病院1班の救護班を出动させ巡回診療及び、アセスメントシート（被災等状況調査）への記入訓練を行いました。この日の夜は長岡赤十字病院、内藤万砂文Dr.を講師に迎え、訓練関係者130名超が災害救護活動の現状について聴講しました。また、講義後は災害現場を想定し、病院内で寝袋を使用し就寝となりました。翌23日は高山赤十字病院内に設置された災害対策本部の指示のもと、同病院本館1階などのスペースを利用し、トリアージエリアの設置や、院外軽傷者のためのエアテントなどの設営及び、院内待合に重傷・中傷各エリアを設置し、災害時診療体制を整え、患者の受け入れ訓練を行いました。

今回の合同訓練は、東日本大震災での救護活動の検証を踏まえ、高山市及び厚生連久美愛病院の救護班も初めて参加し、より実践的な訓練を行う事が出来ました。岐阜県支部および、県内赤十字各施設では、いつ発生するかわからない大災害に備え、毎年訓練を行っています。

水の事故に備え「赤十字水上安全法」講習を開催

平成23年6月19日、26日、7月3日の3日間、各務原市民プールにて水の事故に遭った際の対処方法や救助技術等安全対策に必要な知識と技術を習得するための「赤十字水上安全法救助員養成講習Ⅰ」を開催しました。

講習には15名が参加し、〈水の事故防止〉や〈事故者の発見と救助〉などの基礎的な知識の他、屋外プールを使用して、溺者の発見から救助までの救助技術や、リングブイ、ペットボトル等の器材を使用した救助技術を学びました。

また、実際に衣服や靴を身につけた状態での着衣泳を体験し、衣服を着たままでの泳ぎにくさを体験的に学びました。



プールで指導を受ける受講者

高山赤十字病院白子医師夫妻で国際救援活動

事業名：「アフリカ・ウガンダ北部病院支援事業」【白子隆志医師】

アフリカ中央部・ウガンダ共和国北部のカロンゴという町のアンボロソリ医師記念病院（通称カロンゴ病院）に4月27日から5月30日まで派遣されました。

カロンゴには周囲に病院がないため様々な症例がやってきます。貧しいがゆえに靴が履けない子供たちや、エイズや生活環境の悪さゆえに罹る病気、外傷がまだまだ多い地域なのです。

骨折、化膿、やけど、腹膜炎などの疾患に加え、歯科、耳鼻科、泌尿器科などの疾患の手術も行いました。通常の日本であれば助けられる命も失うこともありましたが、手術によって命を助けられた症例もあり、外科医としての生きがいを感じてきました。



ウガンダの子供と白子隆志医師

事業名：「ハイチ大地震被災者支援事業（コレラ支援）」【白子順子医師】



ハイチのスタッフと白子順子医師

日赤チームは首都のポルトープランスから車で7時間の南県にあるポルタビモン市にコレラ治療センターを設置し、コレラ患者さんの治療にあたっています。

コレラは脱水を改善することが最も大切であるため、患者さんに対し経口補水塩（不足している塩分などを含んだ治療用の水）を飲ませたり、大量の点滴治療を行いました。また再びコレラに感染しないよう生活指導も行いました。

貧しいがために普段からなかなか医療を受けられない人も多量中、元気に帰っていく子供たちの姿をみると日赤の医療チームとしてきてよかったなとすることができました。ハイチの人たちがコレラの脅威から解放される日が来ることを願ってやみません。

平成23年度岐阜県赤十字有功会総会の開催

平成23年6月29日（金）、岐阜市のグランヴェール岐山において、「平成23年度岐阜県赤十字有功会総会」を開催しました。

今年度より岐阜県有功会会長となった、堀江博海十六銀行頭取をはじめ、会員及び来賓等併せて63名の出席のもと、平成22年度中に日本赤十字社岐阜県支部に社資でご功労いただいた多くの方々の内、受章の該当となる33名が表彰され、当日出席をいただいた12名に有功章、社長感謝状が伝達されました。

総会後は、高山赤十字病院の棚橋院長による「糖尿病をもっと知ろう～糖尿病は怖い？～」、同病院の浮田医療社会事業部長による「東日本大震災救護班活動報告」の講演を行いました。



有功会総会の様子

赤十字奉仕団基礎研修会

赤十字奉仕団員となった方々が、赤十字ボランティアとして意識の高揚を図るとともに、赤十字奉仕団員として活動するために必要な基礎的な知識等を学ぶことを目的として「赤十字奉仕団基礎研修会」を県内7会場で開催しました。研修会では、赤十字の歴史と事業について赤十字奉仕団委員長として活躍いただき、様々な研修を修了された支部指導講師より、体験談や奉仕への想いなどをお話いただきました。また、模擬人形を使った、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の講習会体験も行いました。

参加者からは「心に残る話を聞くことができました」「これを機により良い奉仕ができるよう努めていきたい」などの感想をいただき、好評のうちに開催することができました。



赤十字救急法体験（心肺蘇生法）の様子

AKB48ともしっかり知る赤十字!



日本赤十字社は現在AKB48とコラボレーションし、もっとよく知る赤十字!ということで、特設サイトを作成し、赤十字検定を行っています。

この機会に、赤十字の活動内容をクイズを通して勉強してみませんか?興味をもたれた方はぜひ検定にチャレンジしてみてください!これであなたも赤十字マスターになれるかも!?

赤十字マークを知っていますか?



日本赤十字社

赤十字マークは、戦争や紛争などで傷ついた人々と、その人たちを救護する軍の衛生部隊や赤十字の救護員・施設等を保護するためのマークです。紛争地域等で「赤十字マーク」を掲げている病院や救護員などには、絶対に攻撃を加えてはならないと国際法や国内法で厳格に定められています。

つまり、赤十字マークは、いざという時にわれわれ国民一人ひとりを守るマークなのです。また赤十字マークは、病院や医療を象徴するマークだと思っている方も少なくないようですが、このようにとても大切な意味をもつマークであり、その使用については赤十字社と法律等に基づいて認められている組織に限られています。もちろん、一般の病院や医薬品などに使用することは禁止されています。

ちなみに、赤十字マークの配色は、赤十字の創設者アンリー・デュナンの祖国であるスイスに敬意を表して、スイス国旗の配色を逆にしたものが基になっています。

岐阜県支部 お知らせ

8月15日現在で岐阜県支部に寄せられた義援金は次のとおりです。

ありがとうございました



義援金名	金額	受付期間
東日本大震災義援金	1,808,012,198円	平成23年 9月30日まで
平成23年7月新潟県豪雨義援金	12,000円	平成23年10月31日まで
福島県豪雨義援金	12,000円	平成23年10月31日まで

皆様のあたたかいご協力に心から感謝いたします。